

環境・気候変動や施設管理に GISを活用していますか？

GISとは

GIS（地理情報システム）とは地球上に存在する地物や事象をデジタルマップに表現し、情報の関係性や傾向をわかりやすく可視化、分析、管理できるシステムです。国内外で業種問わず資産管理、環境影響評価、マーケティング、サプライチェーン管理などで活用されています。

サポート分野

気候変動（TCFD/IFRS S2）

物理的リスク評価（浸水・土砂災害等）

気候変動の物理的リスク調査として、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の拠点や周辺の該当状況を一括出力します。浸水深度に応じた分類も可能です。

自然・生物多様性（TNFD）

拠点の環境調査（大気、水、土壌等）

TNFD で求められている自社・グループ会社の操業拠点や主要原材料等の拠点周辺の環境調査、環境状況の相対評価に関するご支援をします。

SDGs 債・インパクト投資

環境・社会的課題のパフォーマンス評価

グリーンボンド・インパクト投資に伴う環境社会パフォーマンス（KPI）について、実施の事前・事後、年次変化等をわかりやすく図示し、円滑やコミュニケーションをご支援します。

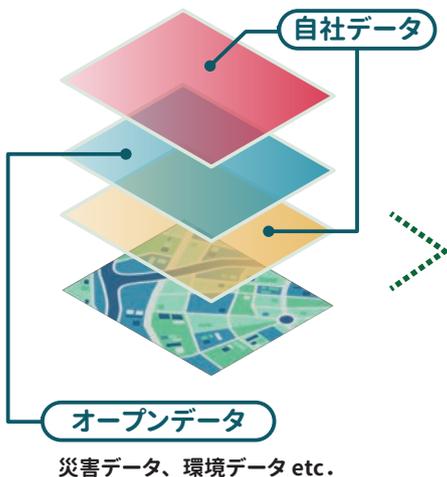
環境ビジネス・サプライヤー

（EV 充電設備、自治体別・州・省別各国市場調査）

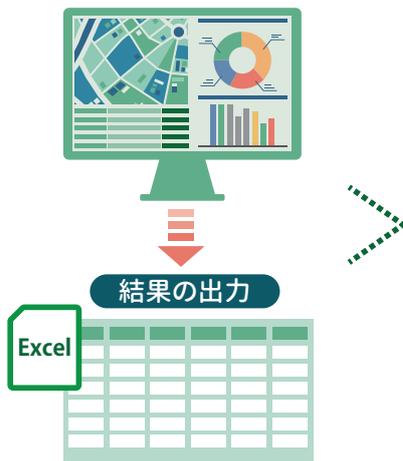
世界各国のエネルギー原単位や、各種データと貴社データを組み合わせて、最新情報をモニタリングするダッシュボードの作成をご支援します。

ご支援の流れ（イメージ）

目的に合わせて手法や必要データについてご提案します。



ご希望に沿った GIS 環境の整備・更新をいたします。また画像や表計算ソフトでの出力もサポートします。



社内外におけるデータの利活用についてご支援します。

社内外のコミュニケーション



Web で共有

社内

取引先



GIS 活用のメリット



✓ GIS だからできる空間解析

手作業では困難なエリア情報の分析が可能

✓ デジタル化による効率アップ

多数の拠点を一括処理することで、業務効率向上

✓ わかりやすい図解

地図を使ったビジュアル化により、意思疎通を促進

✓ 仮説検証による精緻化

既存機能を活用した各種トライアル分析が容易

業務支援フロー(例)

環境コンサルティング

環境・サステナビリティに関する取組、データ、開示案を FINEV がアドバイス

GIS による分析・評価

東京地図研究社が各種データを地図上に入力・整理し、分析・データ出力

取組、モニタリング、開示支援

貴社方針を踏まえ、対応整理、継続モニタリングに関する提案及び開示を支援

業務のご相談、お見積りの依頼など、ご質問等各種お問い合わせは下記メールアドレスにお願いします。

info@finev.co.jp

もしくは

order@t-map.co.jp

..... ✉ 株式会社 FINEV

..... ✉ 株式会社 東京地図研究社



HP <https://www.finev.co.jp>
本社 〒105-0012 東京都港区芝大門 2-10-12KDX 芝大門ビル 8 階
TEL 03-6895-6806

株式会社 FINEV は、環境・サステナビリティに関しての大手企業、業界団体等に調査やコンサルティングを実施しています。国内外の環境ビジネス市場調査による潜在市場の整理、環境リスク管理によるコスト削減、TCFD/TNFD 開示のコンサルティングによる自社の強みをひきだすご支援をします。環境分野の専門性に GIS を組み合わせた独自の分析とわかりやすいアウトプットに高い評価を頂いています。

株式会社東京地図研究社は、各種 GIS ソフトウェアからデジタル地図データ、衛星画像まで、お客様のニーズに合わせたソリューションをご提供します。地図閲覧を含む Web サイトの構築から、プラグイン作成、データ変換、入力など、GIS・地図に関することならどんなことでもお気軽にご相談ください。



株式会社 東京地図研究社



HP <http://www.t-map.co.jp>
本社 〒183-0035 東京都府中市四谷 1-45-2
TEL 042-364-9765